



木の精霊

からの

おくりもの

作/絵：齋藤萌南



ある日、とても仲の良い兄弟が森に散歩に来ました。すくすく緑を
見ながら、どこまでも続いているような道を歩いていました。そこには、か
わいい動物やお花がたくさんさいていました。



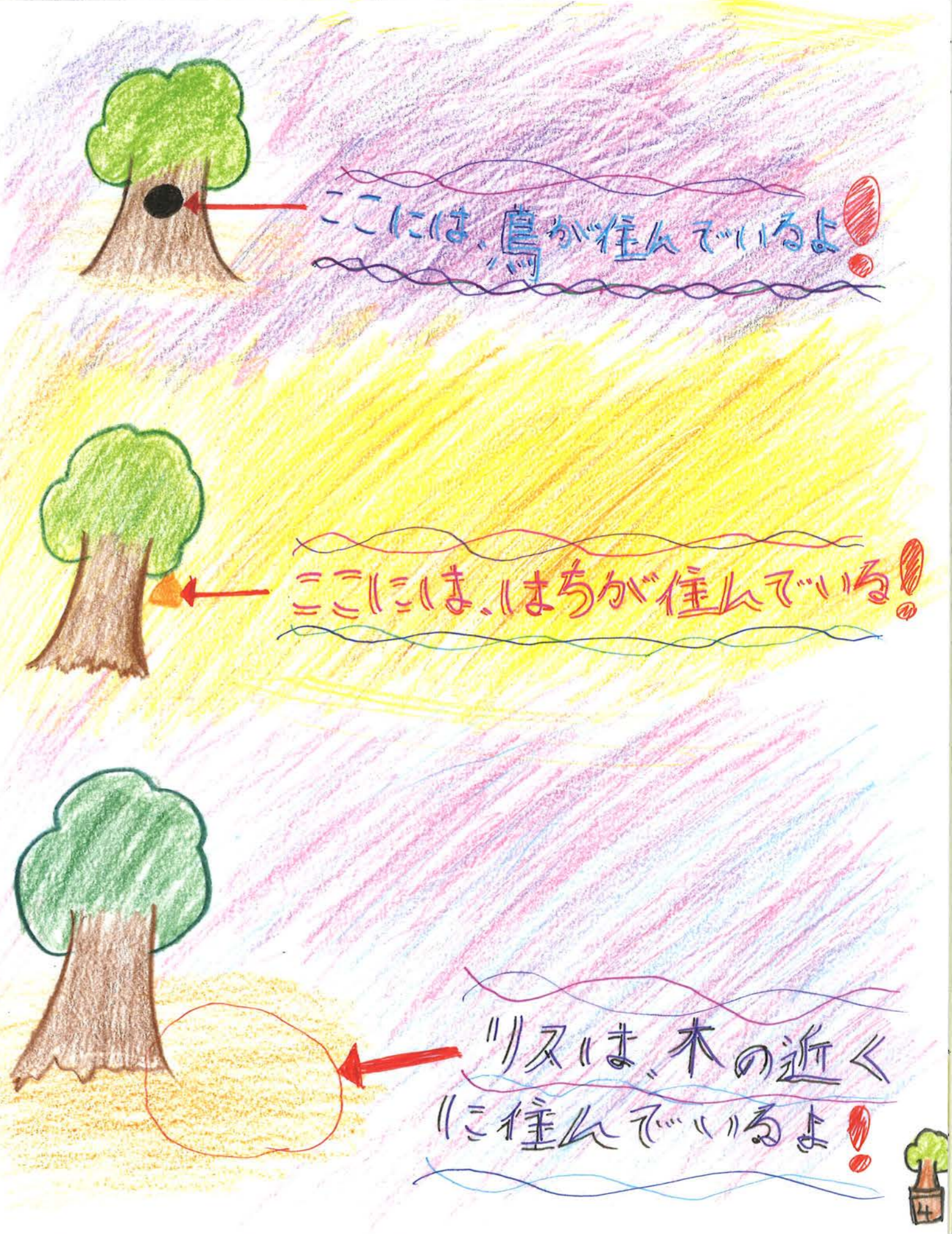
ずっと歩いていると、道の真ん中に一本の木が立っていました。二人は、この
木がすごくじゃまだと思ったので、この木を切ってしまうことにしました。さら
に、周りにも木も切ってしまうと考えました。



二人が、どうやって木を切ろうか考えていると...「ダメ！」と女の子のさけび声が聞こえてきました。なんというでしょう！その女の子は空からまうようにおりてきました。



その女の子は木の大切な役割の一つ、動物の家になっていることを教えてくれました。「そんなに木が大事な役割をしていたなんて！」と二人はおどろきました。



さらに、女の子は紙やつくえ、いすなども木でできていることを教えてくれました。弟は「すごい!」と感心しました。... でもお兄ちゃんは「あれ?」と思ったのです。それもそうです。紙が木でできているということは、木を切っているということではありませんか! あれれ? 木を切ってはいけないのでは?

二人は女の子に聞いてみました。「でも、木を切ったらダメなんじゃないの?」女の子は、二人に優しく教えてくれました。どうやら絶対に切ってはいけないわけではないようです。ではどうすればいいのでしょうか? 女の子によると少しずつ切ったり、苗木を植えたりすればだいじょうぶなんたって! そういうわけだったんですね。



二人は思いました。自分が力になれることはないだろうか？森を守ることに協力できないだろうか？でも... かんたんで小さい事しかできないかもしれません。それでもいいのでしょうか？女の子に聞いてみると女の子はあることわざを教えてくださいました。「ちりも積もれば山となる、どうやらうら紙を使う・むだ使いをしないなど小さいことでもやがてはとても役に立つ」ということのようにです。二人は強く思いました。森を守りたいと。そんな強い思いから二人は約束しました。

二人は、森を守ることに協力すると約束すると... 「うわ、まじしい！」二人はさけびました。それもそのはず、女の子が光っていたのです！まるで、木々の間から差し込む太陽の光りのように。二人はその時やっと思い出しました。そう、女の子は空から来たのです。光りが消えた時、女の子の姿はどこにもありませんでした。二人は女の子はたれたったのか考えながら家に帰りました。

森を守る事に協力する！



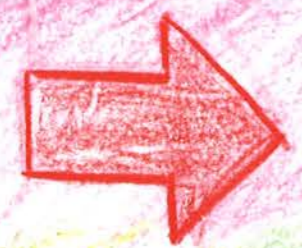
一度使った紙・広告も...



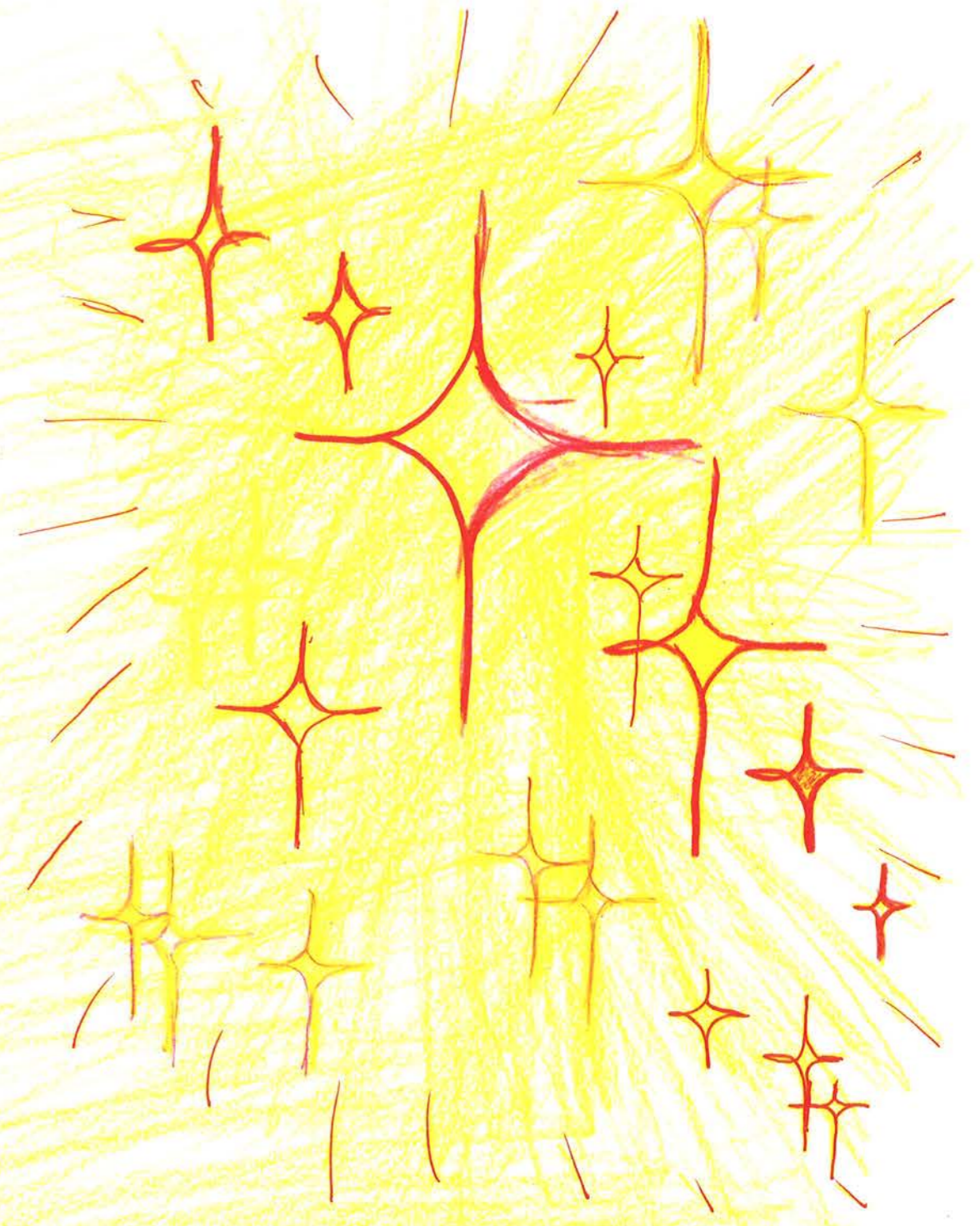
うらは使える！



つぶして...

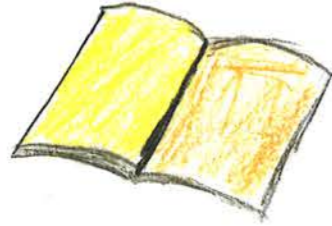
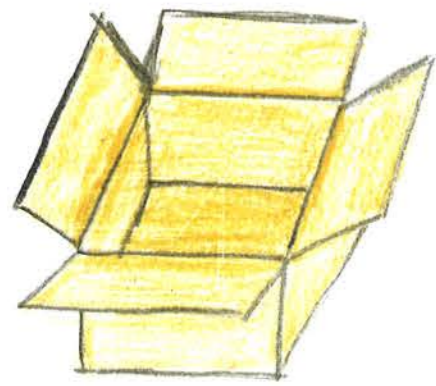


リサイクルしよう！



ダンボール

雑紙



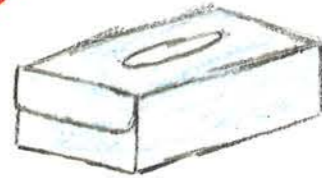
紙コップ



紙ぶくろ

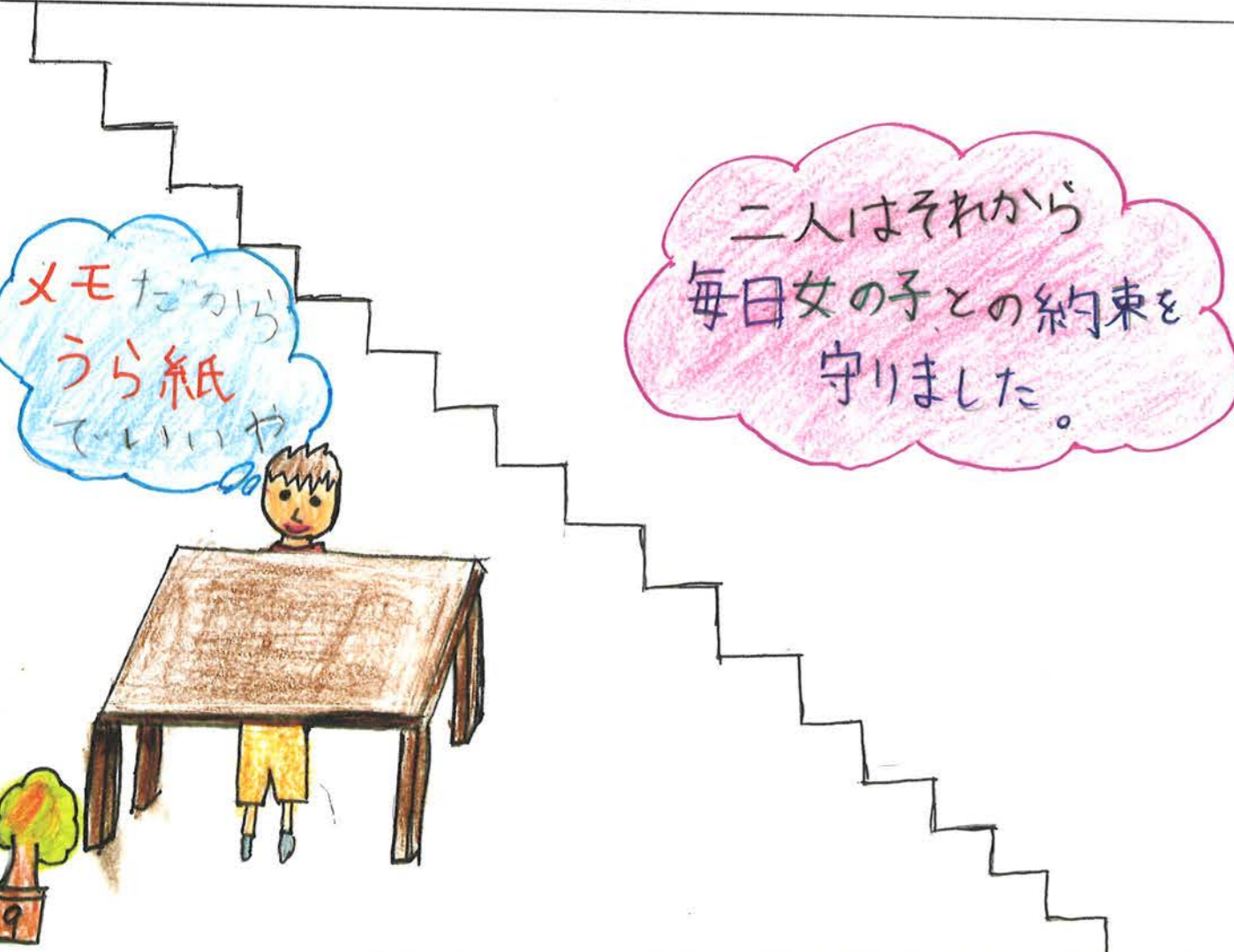
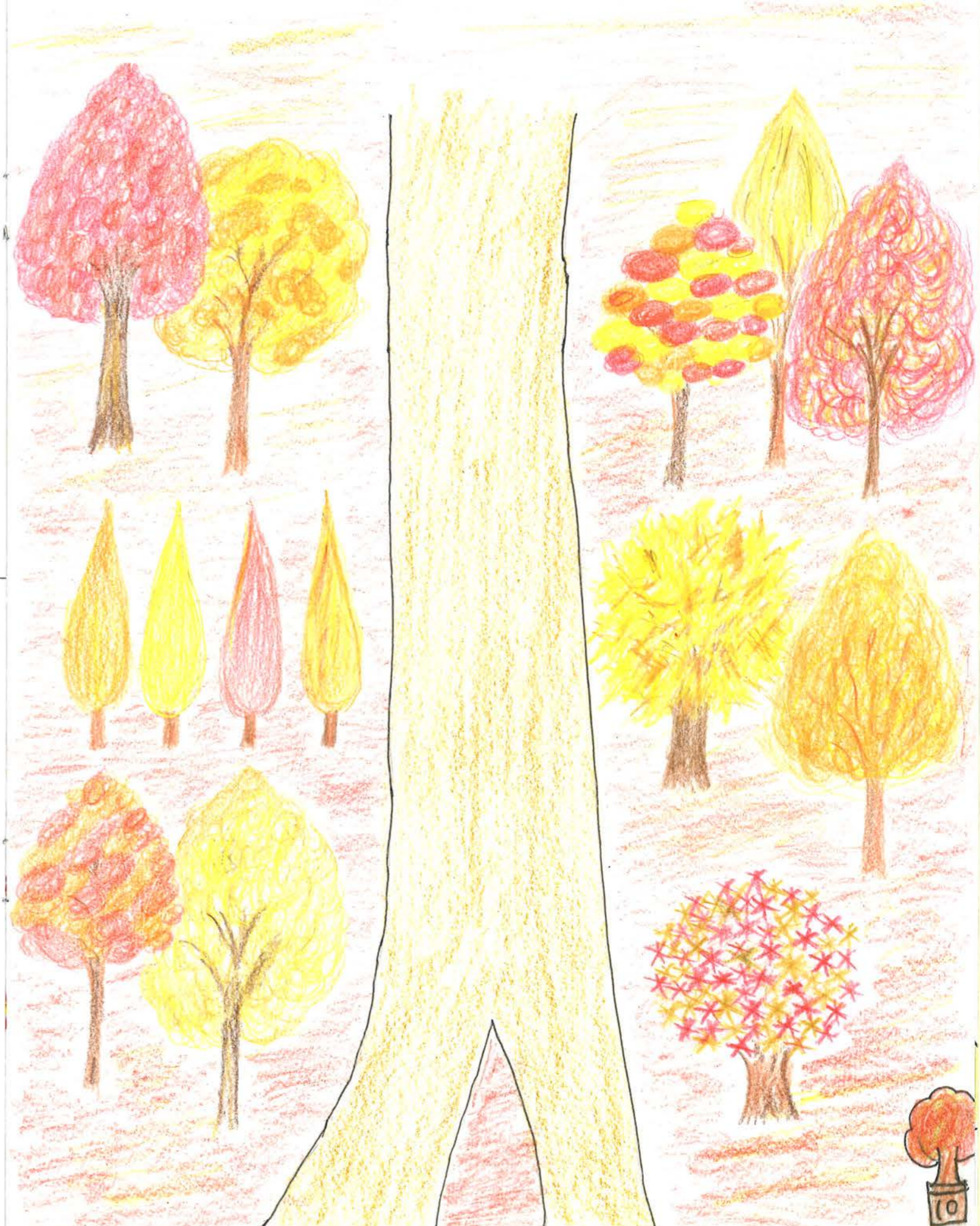


牛乳パック



ティッシュの箱

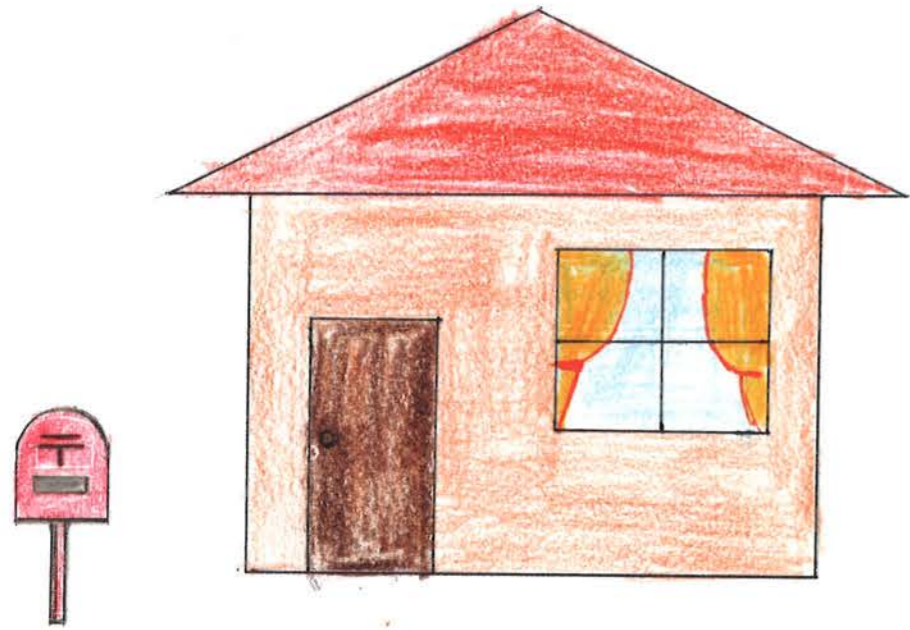
季節は秋になりました。美しい紅葉は魔法のようです。森はとても元気。そんなことを思いながら、ここにくると必ず女の子の事を思い出すのです。いったいあの女の子はだれだったのでしょうか？



メモたから
うら紙
でいいや

二人はそれから
毎日女の子との約束を
守りました。

家に帰ると一通の が届いていました。どうやら二人
にあてた手紙のようです。



二人は家に入ってゆっくり読むことにしました。
だれからの手紙なののでしょうか？まだわかりませんが、
でもなんとなくあの不思議な女の子 からのような気が
しました。たどしてもなんと書いてあるかまではわかり
ません。なんか二人はワクワクしてきました。でも...
本当にあの女の子からなののでしょうか？それでも二人
は家の中へと走り込んでいきました。心の中で
女の子からの連絡を二人とも待っていたのかもしれない。



二人とも、私との約束を守ってくれ
てどうもありがとう！おかげで今森は、
とても元気だよ！もちろん動物もみんな
うれしそうに笑っている！森の木々も
大きく育って美しい色を見せてくれる。
今までで一番きれい！これからも森を
守ることに協力してくれるとうれし
いな。それから、また会えるといいな！
本当にありがとう！

森の精霊より



おれいに最高の景色
をおくります！

また、
あそびに
きてくださ
い！

最後まで読んでくれてありがとう！



© www.BiggerPicture.de/WielskeTerVeld / WWF

この絵本は、2016年に行った「WWFジャパン森林絵本コンテスト」で、優秀作に選ばれた作品を本にしたものです。

いま、豊かな森が減り、野生の生きものたちの数も少なくなっています。世界の環境を守る「WWFジャパン」では、森にすむ生きものたちに、いまだんな問題が起きていて、どうすれば良いのかを学んだ小学生の皆さんから「絵本」を募集しました。小学生の皆さんが、授業で、森や自然、野生動物について学んだことや気づいたことを「絵本」にして家族や友達に知らせようと、一生けんめい工夫して物語を作ってくれたのです。

みなさんは、この絵本を読んでどう思いましたか？ 感想を、ぜひ家族や周りのお友達と話し合ってみてください。森や、そこにすむ生きものを守りながら暮らすにはどうすれば良いか考える人がたくさん増えることが、森や動物を守ることにつながるからです。

私たちにできることのヒント「FSC®」マーク

私たちが使う紙は、森の木から作られています。むやみに木を切ってしまうと、動物たちのすみ場所もなくなってしまうかもしれません。「FSC®」は、森の生きものや、周りに暮らしたり働いている人のことを考えて、きちんと管理された森や、そこから生まれた紙につけられるマークです。動物たちの暮らしにできるだけ負担をかけないように森を使うようにしているので、FSCマークがついたノートなどを使うことは「森を守りながら使う」ことにつながります。ぜひ、このマークを覚えてください。



責任ある森林管理のマーク

WWF って？

WWFは、100カ国以上で活動している地球環境保全団体です。1961年にスイスで設立されました。地球上の生物多様性の保全と、人の暮らしが自然環境や野生生物に与えている負荷の軽減を柱として活動しています。

現在、特に力を注いでいるのは、森や海などの生態系を保全すること、木材や魚介類など、自然資源の利用を持続可能なものにする、地球温暖化を防ぐこと。WWFのサポーターになることは、今すぐ、誰もが始められる環境保全です。人と自然が調和して生きられる未来を築くために、ぜひあなたの力を貸してください。



WWF ジャパン (世界自然保護基金ジャパン)

<http://www.wwf.or.jp>

東京都港区芝 3-1-14-6F

TEL: 03-3769-1241 (平日 10:00 ~ 17:00) Email: hello@wwf.or.jp

「WWF ジャパン森林絵本コンテスト」2016 実施概要

参加校 (ABC 順)

British School In Tokyo

Makuhari International School

New International School

Nishimachi International School

Tokyo International School

主催 WWFジャパン

協賛 王子ホールディングス株式会社

監修 堀井清毅 教諭

(Nishimachi International School)





「WWFジャパン森林絵本コンテスト 2016」受賞作品

この絵本は、王子ホールディングス株式会社のご支援により制作されました。

用紙提供：王子エフテックス株式会社

用紙名：OKミューズガリバーグロスハイホワイト 157 g/㎡

印刷協力：文化堂印刷株式会社

OJI
Beyond the Boundaries

